

「授業年間計画表」（シラバス）

令和5年度版

教科・科目		教科	科 目	単位数	履修学年
		総合的な探究の時間	輝ひ（かがよい）	【必履修】	1 単位
目 標		探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考える。実社会や実生活と自己の関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析する。防災教育を通じて防災意識を高め、地震津波災害時に自ら考え主体的に判断し行動する力を身につける。探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
使用教材		プリント、視聴覚教材、外部講師による講演			
評価の観点・評価基準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。		実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	
評価方法		授業に対する取り組み状況、プリント・レポート等の提出物 など			
学期	学習内容		学習のねらい		学習活動
1	仲間づくり 高校生活について		・年間行事予定表を作成するなど、共同作業を行うことで、自他ともに認め合う関係をつくる。 ・高校生活の意義を考え、自分の生き方・考え方を見つめる。また、地域の活性化に向けて活躍している団体（ＳＢＰなど）の話を聞き、自分のこれまでを振り返り、これからの高校生活の過ごし方についてパワーポイント等を利用して発表する。		・班別活動 ・講義 ・演習 ・発表
2	郷土学習 ・南伊勢町の産業 ・地場産業見学 ・郷土料理調理実習 ・発表		・南伊勢町の産業と伝統的な食生活を学習し、地元に対する理解を深め、愛着を強める。 ・養殖業者や農水産物加工所を見学し、そこで働く人の話を聞く。 ・地元の方から伝統的な郷土料理を学び、調理する。		・班別調べ学習・発表 ・調理実習 ・取り組み発表
3	防災教育 ・南伊勢町の災害リスク ・東日本大震災の被災状況を考える		・地震津波被害想定をもとに南伊勢町の災害リスクについて知る。 ・東日本大震災での被災・避難現場の状況を知る。		
学習上の留意点	数値的な評価はしない。学習への意欲や取り組み状況、課題やレポート、発表などで総合的に評価する。				

「授業年間計画表」（シラバス）

令和5年度版

教科・科目	教科	科 目	単位数	履修学年
	総合的な探究の時間	輝ひ（かがよい）【必修】	1 単位	2 年 全 コース
目 標	防災教育を通じて防災意識を高め、地震津波災害時に自ら考え主体的に判断し行動する力を身につける。 集団で協力して活動することで、公共の精神を養う。 興味関心を持って職業や労働に関する基本的な知識を身につける。			
使用教材	プリント、視聴覚教材、外部講師による講義			
評価の観点・評価基準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	授業に対して積極的に取り組もうとしているか。前向きな態度で取り組んでいるか。	問題意識を持って、自ら考えようとしているか。	自己の考えや思いを他者に的確に伝えたり、表現することができるか。	職業や労働に関する基本的な知識を定着させ、理解を深めることができるか。
評価方法	授業に対する取り組み状況、プリント・レポート等の提出物 など			
学期	学習内容		学習のねらい	学習活動
1	防災教育 ・避難所運営ゲーム ・企業による避難所支援 ・非常持ち出し品の検討 ・津波避難マップ作成演習 ・個人避難計画作成演習 ・防災授業のまとめ		・ゲームを通じて避難所の実態をイメージし、避難所運営の難しさを理解する。 ・企業支援による避難所の現状を理解する。 ・避難所の疑似体験を通じて避難生活に必要なものを考える。 ・津波避難経路を確認する。 ・個人避難計画を具体化する。 ・自分の身を守り、地域に貢献できることの意義を理解する。	・講義 ・演習 ・非常持ち出し品の提案
2	修学旅行に向けて ・平和学習 ・歴史、文化について調べ学習 ・行動計画作成 ・体験活動について調べ学習 ・グループ活動		・修学旅行に向けた準備の中で、仲間づくりを行う。仲間と活動することで、他者と思いや考えを共有し、自己肯定感を高める。	・調べ学習 ・グループ活動
3	進路学習 ・進路面談 ・進路講演会 ・進路ガイダンス ・オープンキャンパスに参加 まとめ		・進路指導担当教員との面談 ・進路に関する調べ学習 ・一年間の取り組みをふり返り、職業に関する基本的理解を深め、自分を見つめ直す。	・面談 ・振り返りおよびプレゼン
学習上の留意点	数値的な評価はしない。学習への意欲や取り組み状況、課題やレポート、発表などで総合的に評価する。			

「授業年間計画表」（シラバス）

令和5年度版

教科・科目	教科	科 目	単位数	履修学年
	総合的な探究の時間	輝ひ（かがよい）【必履修】	1 単位	3 年 全 コース
目 標	進路に関するガイダンスや講演を通じて、進路実現に向けて必要な資質や能力を身につける。 社会人としての自覚を持ち、ルールとマナーを身につける。			
使用教材	プリント、視聴覚教材、外部講師による講義			
評価の観点・評価基準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	授業に対して積極的に取り組もうとしているか。前向きな態度で取り組んでいるか。	問題意識を持って、自ら考えようとしているか。	自己の考えや思いを他者に的確に伝えたり、表現することができるか。	職業や労働に関する基本的な知識を定着させ、理解を深めることができるか。
評価方法	授業に対する取り組み状況、プリント・レポート等の提出物 など			
学期	学習内容		学習のねらい	学習活動
1	進路ガイダンス ・進路先決定に向けて ・自己PR ・職業別進路ガイダンス ・小論文 ・適性検査 ・面接		・自らの進路について考え、将来の目標を持って学習する意欲を高める。 ・具体的な進路先を決定し、実現するために必要な情報を収集する。 ・入学試験・就職試験の面接に向けて自分を見つめ直し、前向きな心構えを身につける。 ・専門学校・大学の職員による職業別ガイダンス。 ・小論文・適性検査に対応できる知識を身につける。 ・具体的な面接マナーや質問事項への対応を身につける。	・インターネット等を活用した調べ学習 ・小論文 ・講義 ・演習
2	進路ガイダンス ・面接 社会人になるために ・労働者の権利と義務 ・ローンとクレジットのはなし		・模擬面接を繰り返し実施し、面接マナーや立ち居振る舞い、正しい言葉づかいの定着をはかる。 ・卒業後、社会人として必要な生活全般の実学知識について外部講師を招き講義を実施する。 ・銀行員を講師にローン・クレジットのしくみを学ぶ。	・演習 講義
3	社会人になるために ・身だしなみ講座 ・税のはなし		・スーツ販売会社社員を講師にスーツの着こなし方を学ぶ。 ・税務署職員を講師に税のしくみを学ぶ。	・講義 ・講義
学習上の留意点	数値的な評価はしない。学習への意欲や取り組み状況、課題やレポート、発表などで総合的に評価する。			